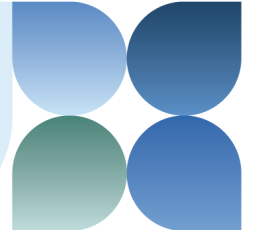


# 河川取水施設の更新設計



## 河川取水施設の現状と課題

河川を水源とする取水施設(取水井戸・集水埋渠等)が1970年代頃から数多く整備されてきました。これらの施設の老朽化や取水量の減少等の課題が生じて施設更新が必要なケースが多くみられます。

日水コンでは、このような課題を解決する「河川取水施設の更新設計」をご提案しています(図1)。

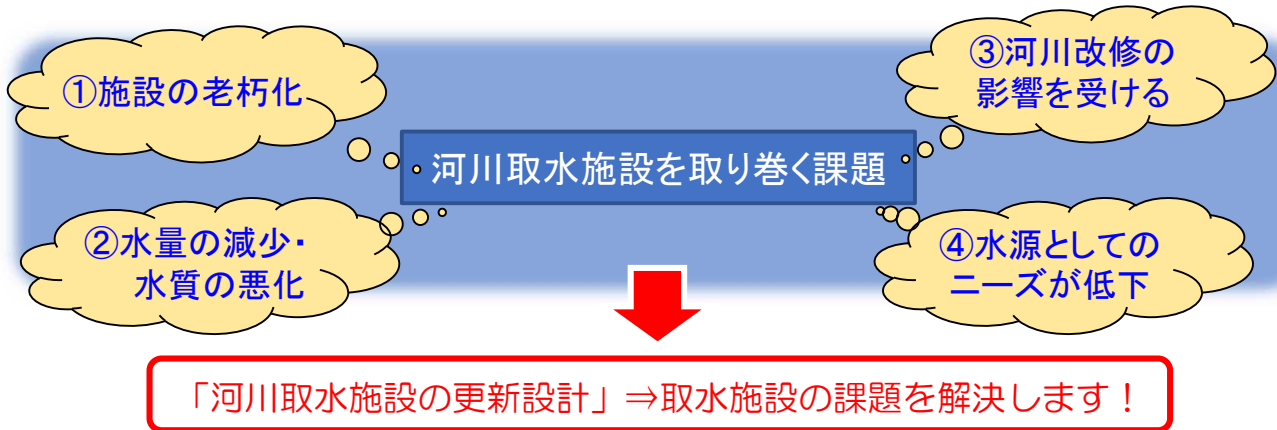


図1 「河川取水施設の更新設計」が必要となる業務課題(イメージ)

## 課題解決へのアプローチ

「河川取水施設の更新設計」の調査検討フローを下図に示します。「河川取水施設の更新設計」では、各種調査により河川取水施設の現状を適切に把握し、課題の原因を究明します。課題の原因に応じた解決策を見出し、河川取水施設の最適な更新方法を決定します。

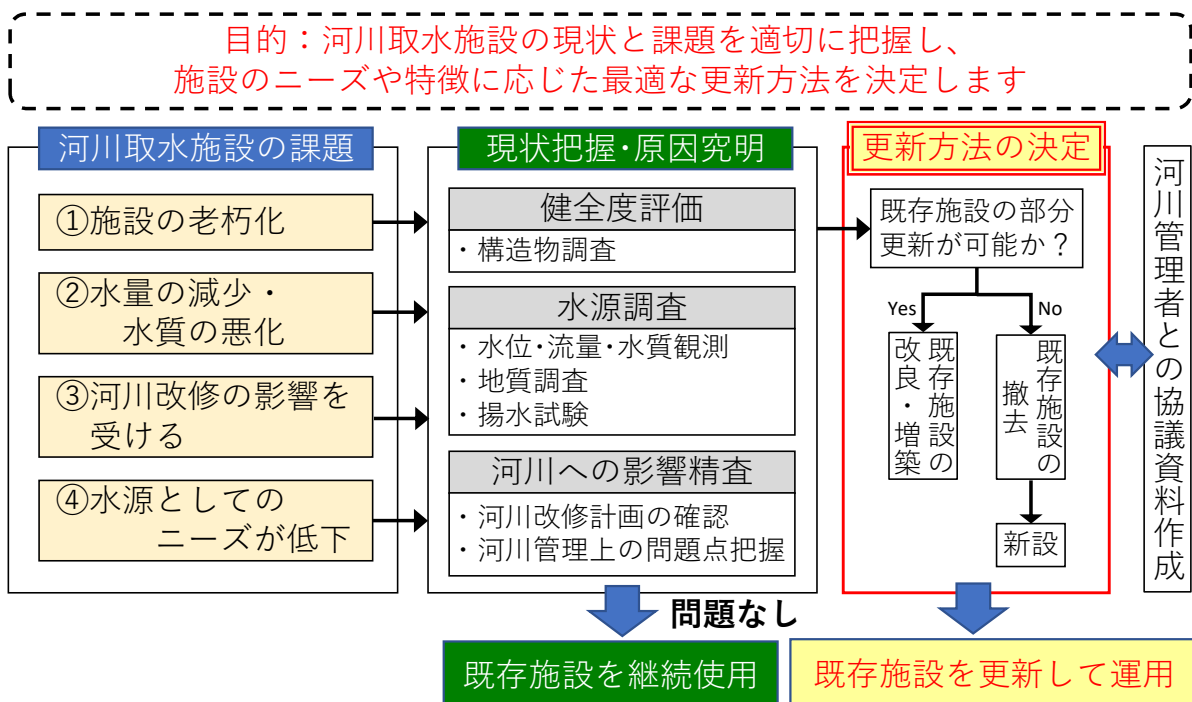


図2 「河川取水施設の更新設計」の調査検討フロー

## 「河川取水施設の更新設計」のポイント

### ポイント1: 部門間の協同

「河川取水施設の更新設計」では、水道に加えて河川や機械・電気等の専門技術が必要になります。日水コンは、水道部門、河川部門、機電部門、建築部門等、河川取水施設の技術的課題に対応できるエンジニアを多く抱えており、営業部門と協同して「河川取水施設の更新」に向けたご要望にお応えする組織体制を整えております。

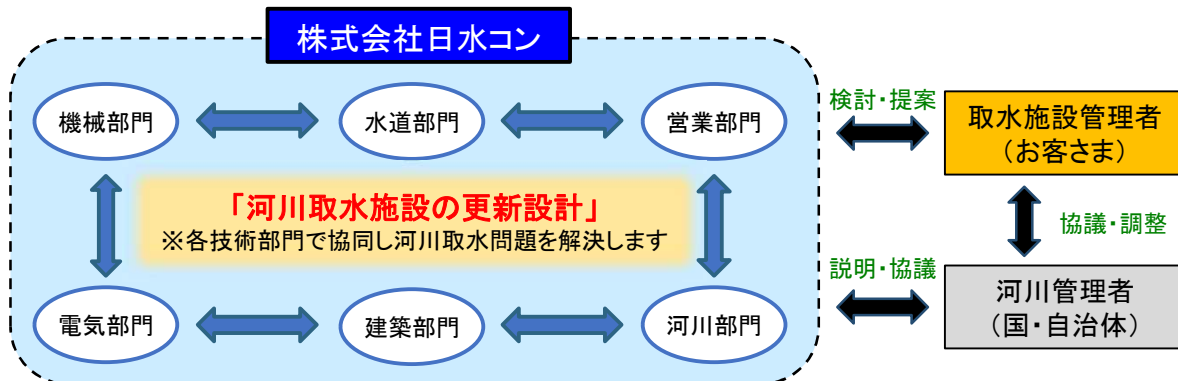


図3 「河川取水施設の更新設計」の課題解決に向けた日水コンの強み（組織体制イメージ）

### ポイント2: 河川管理者への対応

昨今、気候変動に伴う大規模な洪水が頻発しており、全国で治水安全度の向上に向けた河川改修が進められています。河川取水施設を更新する際は、当該施設の占用を許可している河川管理者（国・自治体）への説明・了承を得ることが重要なポイントになります。

日水コンでは、河川治水計画に関する検討実績を多く有しており、河川取水施設の更新設計に必要な河川資料の収集・整理、河川改修の進捗状況やスケジュールの確認、河川に関する法令（河川管理施設等構造令）への適合性等を適切に検討することができます。

このように、水道施設のニーズを踏まえつつ河川管理上のポイントも踏まえた提案を行うことで、お客さまの河川取水施設更新に関わる河川管理者との協議をよりスムーズにサポートすることができます。

## 「河川取水施設の構成設計」の実績

日水コンでは、「河川取水施設の更新設計」の豊富な業務実績を有しており（下表参照）、これまでの経験で培ったノウハウを発揮し、河川取水施設の課題解決に向けたお客さまのご要望にお応えします。

表1 「取水施設の検討・設計」業務実績

年度	発注者	業務名称	施設更新概要
2020	和歌山県商工観光労働部	紀の川取水施設更新実施設計業務	水量減に伴う代替施設設置
	国土交通省近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所	円山川中郷遊水地水道施設予備設計他業務	遊水地整備に伴う施設移設
2021	広島県世羅町上下水道課	さかえ浄水場取水施設基本設計業務	水量減に伴う代替施設設置
2022	広島県呉市上下水道局	戸坂取水施設撤去検討業務	水源整理に伴う施設撤去
	奈良県宇陀市	宇陀市上水道事業 内山浄水場・桧牧浄水場 取水施設撤去に伴う概略設計業務	水源整理に伴う施設撤去

